資料１

国勢調査等実施事例研究会の開催について

平成 24 年 9 月 5 日
総務省統計局
統計調査部国勢統計課

１　目的

国勢調査及び住宅・土地統計調査について、諸外国における実査上の取組事例や集計方法を研究し、我が国における導入方法や応用方法を具体的かつ専門的に検討することを目的として、幅広い知見を有する学識経験者を交え、国勢調査等実施事例研究会（以下「研究会」という。）を開催する。

また、諸外国におけるインターネットを活用した調査手法について、最近の動向や検討状況などを把握するとともに、併せて、別途構築するオンライン調査デモシステムによって、携帯型情報端末の活用方法や回収状況等のデータ管理の仕組みについて検証する。

２　研究課題（予定）

(1) 諸外国における国勢調査及び住宅・土地統計調査の実施状況や集計手法の調査

(2) 諸外国の実施事例を踏まえた我が国の統計調査への導入の可否の検討

(3) その他
インターネットを活用した調査手法やデータ管理の仕組みの研究　等

３　構成員

研究会の構成員は、別紙のとおりとする。

４　開催頻度

研究会は、平成24年度に３回程度開催する。

５　庶務

(1) 研究会の庶務は、総務省統計局統計調査部国勢統計課において処理する。

(2) 研究会の配布資料は研究会終了後、ホームページで公表するとともに、議事概要を事務局で取りまとめ、速やかにホームページ上で公表する。

別　紙

国勢調査等実施事例研究会の構成員

大林　千一	帝京大学　経済学部	教授
菅　　幹雄	法政大学　経済学部	教授

総務省統計局統計調査部国勢統計課長
総務省統計局統計調査部国勢統計課調査官
総務省統計局統計調査部国勢統計課課長補佐
（企画、指導、住宅・土地調査、研究分析、特命事項、審査の各担当）

その他、国勢統計課長が必要に応じて招請する者

（敬称略）